

県営住宅団地内での盲導犬・聴導犬・介助犬使用の承認基準

県営住宅に入居又は入居しようとしている世帯における視覚障害及び聴覚障害のある方並びに肢体の不自由な方の行動範囲を拡大し、自立及び社会参加を促進するため、神奈川県県営住宅条例第27条第3項の県営住宅内での動物飼育禁止の特例として、次のとおり盲導犬・聴導犬・介助犬使用の承認基準を定める。

1 承認要件

盲導犬・聴導犬・介助犬の使用を認められる者は、次の要件を満たすものとする。

(盲導犬・聴導犬・介助犬の共通要件)

- (1) 県営住宅入居者又は入居しようとする者。
- (2) 神奈川県県営住宅条例第48条に規定する明渡し事由に該当しないこと。
- (3) 使用する盲導犬・聴導犬・介助犬は、いずれも法に定められている予防注射及び登録の手続き等を経ている犬であること。
- (4) すでに、盲導犬・聴導犬・介助犬のいずれも飼育していないこと。

(盲導犬・聴導犬・介助犬の個別要件)

(1) 盲導犬使用の場合

ア 使用する盲導犬は、道路交通法施行令第8条第2項に定める盲導犬であること。

また、「神奈川県盲導犬給付事業要綱」(福祉部障害福祉課所管)で定める盲導犬給付の対象になっていること。

イ ア以外の場合で、個人、団体等からの寄付等により、現に盲導犬を使用している者。

ウ その他、住宅営繕事務所長が必要と認めた者。

(2) 聴導犬使用の場合

ア 使用する聴導犬は、日本小動物獣医師会又は日本聴導犬協会等住宅営繕事務所長が認める聴導犬認定団体(以下「認定団体等」という。)により認定された聴導犬であること。

イ 身体障害者福祉法施行規則別表第5(第5条関係)「身体障害者障害程度等級表」に定める「聴覚障害」欄の2級及び3級に該当する者。

ウ その他、住宅営繕事務所長が必要と認めた者。

(3) 介助犬使用の場合

- ア 使用する介助犬は、日本介助犬アカデミー等住宅営繕事務所長が認める介助犬認定団体（以下「認定団体等」という。）により認定された介助犬であること。
- イ 身体障害者福祉法施行規則別表第5（第5条関係）「身体障害者障害程度等級表」に定める「肢体不自由」欄の1級から3級に該当する者。
- ウ その他、住宅営繕事務所長が必要と認めた者。

2 飼育場所等

盲導犬・聴導犬・介助犬の居所は、申請者の居住する住宅とし、共同施設等に犬小屋若しくはこれに類するものを設置しないこと。

3 承認申請・届出等

- (1) 盲導犬・聴導犬・介助犬いずれかの使用の承認を受けようとする者は、盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認申請書（様式1）に誓約書（様式2）を添付して申請するものとする。
- (2) 誓約事項は、次のとおりとする。
 - ア 糞便等については、必ず始末し、鳴き声その他近隣居住者に迷惑をかけること。
 - イ 申請者の使用する住宅の専用部分においてのみ、盲導犬・聴導犬・介助犬を飼育すること。
 - ウ 共同敷地等に、犬小屋若しくはこれに類するものを設置しないこと。
 - エ 使用する犬に起因する住居内の汚損、破損については、使用者が修理等の負担をするとともに、第三者に対する人身及び物件に危害を与えた場合についても使用者が責任をもって対応すること。
- (3) 住宅営繕事務所長は、提出された申請書が、1の承認要件を満たしており、住宅管理上支障がないと認める場合は、盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認書（様式3）及び盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認証（様式4）を交付するものとする。
- (4) 承認を受けた使用者は、交付された盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認証を自宅玄関扉の外側に貼付するものとする。
- (5) 聴導犬使用申請は、使用する聴導犬が確定していない（未認定の場合）においても申請できるものとし、聴導犬認定団体から聴導犬認定証の交付を受けたときは、速やかに住宅営繕事務所長にその写しを提出するものとする。
- (6) 住宅営繕事務所長は、盲導犬・聴導犬・介助犬の使用を承認したとき

は、承認住宅団地の自治会長あて承認した旨通知（様式5）するものとする。

- (7) 盲導犬・聴導犬・介助犬を使用しなくなったときは、盲導犬・聴導犬・介助犬不使用届（様式6）を住宅営繕事務所に届け出るものとする。

また、使用を再開するときは、盲導犬・聴導犬・介助犬使用再開届（様式7）を住宅営繕事務所に届け出るものとする。

なお、不使用届の提出後、1年を経過したときは、新たに使用承認申請するものとする。

4 施行日

- (1) この基準は平成13年7月31日から施行する。
- (2) この基準は平成17年4月1日から施行する。
- (3) この基準は令和3年4月1日から施行する。

様式1

盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認申請書

平成 年 月 日

住宅営繕事務所長 殿

住 宅 名	団地名										号棟	号室
部屋コード												
フリガナ											電 話	
住宅名義人												

私は、この住宅で（盲導犬・聴導犬・介助犬）を使用したいので申請します。

フリガナ	
盲導犬 聴導犬 を使用する者の氏名 介助犬	
身体障害者手帳番号	県（市） NO. 級
盲導犬 聴導犬 使用開始予定年月日 介助犬	平成 年 月 日
飼育予定場所（見取図）	

- 添付書類
- 1 誓約書
 - 2 身体障害者手帳の写し
 - 3 ① 盲導犬使用者証の写し
② 聴導犬認定証の写し（未認定の場合は、交付後速やかに提出のこと）
③ 介助犬認定証の写し

様式2

誓 約 書

平成 年 月 日

住宅営繕事務所長 殿

申請人 氏名

住所

(盲導犬・聴導犬・介助犬)を使用することについて承認された場合は、下記事項を固く守ることを誓約します。

記

- 1 糞便等については、必ず始末し、鳴き声その他近隣居住者に迷惑をかけること。
- 2 私の使用する住宅の専用部分においてのみ盲導犬・聴導犬・介助犬を飼育すること。
- 3 共同敷地等に、犬小屋若しくはこれに類するものを設置しないこと。
- 4 使用する犬に起因する住居内の汚損、破損については、使用者が修理等の負担をするとともに、第三者に対する人身、物件等への損害を与えた場合についても私が責任をもって対処すること。

様式3

盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認書

平成 年 月 日

住宅の名称及び番号

氏名 様

住宅営繕事務所長

平成 年 月 日付けをもって申請のあった（盲導犬・聴導犬・介助犬）使用については、次の条件をつけて承認します。

- 1 （盲導犬・聴導犬・介助犬）の使用に当たっては、他の入居者等に迷惑をかけないよう犬の管理に十分留意すること。
- 2 誓約内容を固く守ること。
- 3 承認を受けた使用者は、交付された盲導犬・聴導犬・介助犬使用承認証を自宅玄関扉の外側に貼付すること。
- 4 盲導犬・聴導犬・介助犬を使用しなくなったときは、盲導犬・聴導犬・介助犬不使用届を提出すること。
また、再び使用を開始するときは、盲導犬・聴導犬・介助犬使用再開届を提出すること。
- 5 不使用届の提出後、1年を経過したときは、新たに使用承認申請をすること。

様式4 (たて5cm×よこ8cm)

<p>盲導犬 (聴導犬・介助犬) 使用承認証</p>	<p>県のマーク</p>
<p>住宅</p>	<p>神奈川県</p>
<p>氏名</p>	<p>様</p>
<p>盲導犬 (聴導犬・介助犬) の使用を承認します。</p>	
<p>神奈川県住宅営繕事務所長</p>	

様式5

平成 年 月 日

(団地) 自治会 様

神奈川県住宅営繕事務所長

〇〇〇〇〇〇の候、貴自治会におかれましては、常日頃より神奈川県の間営住宅行政にひとかたならぬご尽力をいただき、ここに厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、貴団地の下記の入居者に対しまして(盲導犬・聴導犬・介助犬)の使用を承認しましたので、貴自治会におかれましても(盲導犬・聴導犬・介助犬)飼育に係るご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

記

住宅名称・住宅番号

入居名義人氏名

(盲導犬・聴導犬・介助犬)

使用承認年月日

平成 年 月 日

様式6

盲導犬・聴導犬・介助犬不使用届

平成 年 月 日

住宅営繕事務所長 殿

住 宅 名	団地名			号棟	号室
部屋コード					
フリガナ				電 話	
住宅名義人					

私は、(盲導犬・聴導犬・介助犬)を使用しないことになりましたので届け出ます。

使用承認者氏名	
使用承認年月日	
不使用となった年月日	
不使用となった原因	①使用承認者によるもの ②盲導犬・聴導犬・介助犬によるもの
<p>① 使用承認者が原因の場合</p> <ul style="list-style-type: none">・死亡・転居・その他 <p>(具体的な内容)</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>② (盲導犬・聴導犬・介助犬) が原因の場合</p> <ul style="list-style-type: none">・死亡・老衰、不慮の事故等により機能を果たさなくなった。・その他 <p>(具体的な内容)</p> <p>.....</p> <p>.....</p>	

様式7

盲導犬・聴導犬・介助犬使用再開届

平成 年 月 日

住宅営繕事務所長 殿

住 宅 名	団地名				号棟	号室
部屋コード						
フリガナ					電 話	
住宅名義人						

私は、不使用届を提出しておりましたが、(盲導犬・聴導犬・介助犬)の使用を再開したいので届け出ます。

既 使 用 承 認 者 氏 名	
既 使 用 承 認 年 月 日	平成 年 月 日
不 使 用 届 提 出 年 月 日	平成 年 月 日
使 用 開 始 年 月 日	平成 年 月 日
使用を開始する理由	